

2010年3月～2012年3月に眼科を受診し、視神経、視交叉、視索、視放線、後頭葉の障害と診断された患者さんへのお知らせ

— 視神経以降の視路障害に対する対光反射を用いた研究について —

当科では、川崎医科大学倫理委員会の承認を得て、視神経以降の視路障害（視神経、視交叉、視索、外側膝状体、視放線、後頭葉の障害）に対して対光反射を用いた臨床研究を行います。対象となるのは、2010年3月から2012年3月までの期間に当科を受診された視神経以降の視路障害と診断された患者さんで、電子瞳孔計による対光反射測定と視力検査、視野検査および光干渉断層計による眼底三次元画像解析を受けられた方のデータを使用します。

本研究は、視神経、視交叉、視索、外側膝状体、視放線、後頭葉の障害の対光反射を捉える因子を検討し、臨床に役立てることを目的としております。

- ・ 研究の成果は学会や学術論文として発表予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
- ・ 研究に画像データなどの検査結果を使用しないで欲しいとのご意志やお問い合わせがある場合は、お手数ですが、下記の連絡先までご一報ください。
- ・ 研究に同意いただけない場合でも、今後の診断、治療に支障はありません。
- ・ 本研究は外部の企業や団体からの研究資金はなく、利益相反もありません。

連絡先

川崎医科大学附属病院 眼科

視能訓練士 潑澤 剛

電話 086-462-1111 (内線 24647)

Fax 086-463-0923

E-mail tacky@med.kawasaki-m.ac.jp